

# 令和7年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 曽根 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和7年4月17日（木）に、「教科（国語、数学に関する調査）」、文部科学省が指定した日（4月14日から4月17日の間）に「教科（理科に関する調査）」、「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学、理科）

#### 教科に関する調査（国語、数学、理科）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問調査

#### 生徒質問調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査（国語、数学、理科）の結果

本年度の結果	国語		数学		理科
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均IRTスコア
本市	7.4	53	6.7	45	492
全国	7.6	54	7.2	48	503

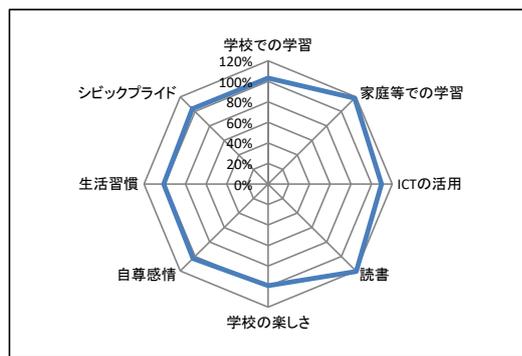
#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	言葉の特徴や使い方や読むことなどの領域では全国平均を下回ったものの、書くことなどの領域では全国平均を上回っている。授業以外に読書習慣を定着させる取り組みなどの必要性がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	記述式の問題の正答率が高い傾向にある。	
	努力が必要な問題	話すこと・聞くことに関する問題の正答率が低い。	

数学	全体的な傾向や特徴など	図形領域、関数領域で課題がみられる。それに対し、データの活用分野では、全国平均を上回る解答がある。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	記述式の問題の正答率はすべて全国平均を上回っている。	
	努力が必要な問題	素数の意味、変化の割合、証明に関する問題に課題が見られた。	

理科	全体的な傾向や特徴など	IRTバンド値は、おおむね全国平均と同等の結果が出ている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	気体の性質に関する知識、加熱を伴う実験における実験器具の捜査等に関する技能	
	努力が必要な問題	知識や技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想すること。	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



全国平均を100としたときの本校の割合

質問調査の結果分析	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問調査の結果については、全国平均を上回る肯定的な回答が多くある。その中で、「自分には、よいところがあると思う」、「人の役に立つ人間になりたいと思う」との問いでは肯定的な回答が高い。また、「学校の授業以外に読書を読みますか」、「読書は好きですか」という問いに対する肯定的な回答が全国平均を大きく上回っている。</li> <li>・「学校に行くのは楽しいと思う」、「友人関係に満足している」についての肯定的な回答は、若干全国平均を下回る結果となった。</li> <li>・日々の授業でICT機器を活用していることがわかる。</li> </ul>	

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

- ・基礎学力を定着させるため、朝学習において基礎基本を意識した教材を活用する。
- ・ICTを活用した協動的な学びは進んでいるが、個別最適化の視点を強化した授業づくりを検討していく。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・家庭学習における自主学習ノートやAIドリルアプリの活用方法の工夫を、より一層進める。
- ・生活習慣に関しては良好な結果が得られており、引き続き呼びかけを継続する。